

調査事業名	岩手県被災地における中山間地支援にかかる新たな協働実現事業
対象地域	静岡県及び岩手県(大槌町等を対象)
応募団体名	特定非営利活動法人地域づくりサポートネット

◆計画概要

岩手県の災害支援団体と連携し、静岡の各個別支援団体と岩手の個別団体をマッチングすることで、継続的支援が届く仕組みを構築することを目的とする。被災地周辺の中山間地域で、仮設住宅等を含む地域のニーズ把握、それに見合う静岡県内の活動団体の意向把握等ニーズ調査、静岡からの支援プログラム開発を行う。それを踏まえ、団体間の交流支援の仕組みを構築するためのモデル的活動として、「きずなツアー」や「物産市」を実施する。

◆実施結果

- 平成23年度の主な活動
- 被災地中山間地における支援ニーズ調査
 - ・被災地活動団体、仮設住宅居住者、在宅避難者を対象にヒアリングを実施
 - 静岡からの支援プログラム開発WS(自治会関係者、NPO、産業団体等で構成し、支援方策を取りまとめる)
 - ・支援方策検討ワークショップ会議の開催
 - ・支援地団体ヒアリング
 - ・ニットアウトワークショップ、クリスマスワークショップ開催(物資支援のあり方検討の一つとして実施)
 - 縁組実験「きずなツアー」、資金開発実験「いわてミニ物産市」の開催支援
 - ・支援地から被災地へ出向き、仮設住宅にてイベント実施(お茶会や運動会等)
 - ・意見交換会の実施
 - ・被災地から提供の胡桃を使い、ミニ物産市を実施

被災地と支援地の中山間地を対象に「きずなツアー」や「ミニ物産市」をとおして各個別団体間の連携を創出した

◆成果

- 被災地の中山間地を通じた支援のあり方がみえた。自然体による訪問、受け入れがなされ、今後の継続的交流が期待できる。超広域からの支援活動のモデルがスタートできた。
- 交流支援、経済支援、健康づくり支援など、多面的交流が一体的に実施できることがわかった。
- 本事業で対象とした地区以外への展開可能性や必要性の把握ができた。これをふまえ、広域的な交流が今後期待される。

